NEJM 勉強会　2016 年度第 6 回　2016 年 6 月 2 日　C プリント　　担当:須崎賢

Case 38-2011: A 34-Year-Old Man with Diarrhea and Weakness

(*N Engl J Med* 2011;365:2306-16)

【鑑別診断】

経過 6 か月の慢性下痢と急速進行性筋力低下を呈する患者

若年なので一元的に説明できる鑑別を考える

<筋力低下・運動障害>

[中枢神経障害]

　筋力低下が左右対称性であること、腱反射の消失、感覚障害がないことから否定的

[末梢神経障害]

・Guillan-Barre 症候群：手足のまひは特徴的だが、筋肉痛は非特徴的である

[神経筋接合部疾患]

・重症筋無力症：近位の粗大な筋肉から症状が生じることは少ない

・Lambert-Eaton 症候群：運動を繰り返すことで筋力が回復したというエピソードがない

[筋疾患]：筋ジストロフィー、筋炎など

　急速進行性であり、血中 CK も正常値であることから可能性は低い

[中毒・薬剤性]

　病歴上否定的

[代謝・内分泌疾患]

・周期性四肢麻痺：運動後の筋力低下というエピソードがないこと、消化管への K 喪失が否定できないことから基準を満たさない

神経筋疾患ですべての症状を一元的に説明できない

下痢・嘔吐によって生じた低 K 血症による 2 次的なものと考えられる。

<慢性下痢>

1 か月以上持続する下痢を「慢性下痢」と定義し、その鑑別には表のようなものがある。急性下痢と異なり、ウイルス・細菌感染症の頻度はかなり少ない

［血管性］

・虚血性腸炎：下血がないこと、通常 1～2 週間で自然軽快することから除外できる

［感染性］

・C.difficile 腸炎：抗生物質内服歴がないことから除外できる

・赤痢アメーバ：特徴的な粘血便がないことから除外できる

・ランブル鞭毛虫症(ジアルジア)：米国では最もよく見られる寄生虫感染症で、汚染された水を飲んだ際に 1～2 週間の潜伏期間を経て発症する(＝病歴合致)　しかし免疫健常者ではほとんど無症状である。

・HIV 関連感染症：

　クリプトスポリジウム
　ルーシュマニア
　シストイソスポラ
　} 原虫性

クリプトコッカス
ヒストプラズマ　} 真菌性
単純ヘルペス腸炎
サイトメガロウイルス腸炎　} ウイルス性

などがある。HIV 感染高リスク患者であるからこれらに感染している可能性はある。

［代謝性］

・乳糖不耐症：ここまで重篤化することは考えづらい

［炎症性］

・Crohn 病：若年で体重減少もあるため考えられるが、発熱がなく、合併症状もないため可能性はそれほど高くない。

・潰瘍性大腸炎：下血がなく否定的

［腫瘍性］

・大腸癌：ここまで進行してもなお血便がないことより考えづらい

・VIP 腫瘍：低 K 血症、水様性下痢と症状は合致するが、頻度は 0.1 人 /100 万人である(Friesen SR et al. *Surg Clin North Am.* 1987;67(2):379.)

・カルチノイド腫瘍：他のセロトニン症状が見られない

［その他］

・セリアックスプルー：ここまで重篤化することは考えづらい

血管性	虚血性腸炎
感染性	C.difficile 赤痢アメーバ ランブル鞭毛虫 ジアルジア 腸結核 HIV 関連感染症
代謝性	乳糖不耐症 甲状腺機能亢進 副腎不全
炎症性	Crohn 病 潰瘍性大腸炎 膠原病性腸炎
腫瘍性	大腸癌 VIP 腫瘍 カルチノイド腫瘍
その他	過敏性腸症候群 セリアックスプルー 慢性膵炎
医原性	放射線、短腸症候群など

以上より、HIV 感染による免疫低下を背景とした、何らかの感染症に罹患しているものと想定された。

【検査】

HIV 抗体検査をする。

便検体を採取し寄生虫卵や虫体がないか鏡検する

【結果】

HIV1、HIV2 抗体反応陽性

便中よりシストイソスポラの卵・虫体を検出

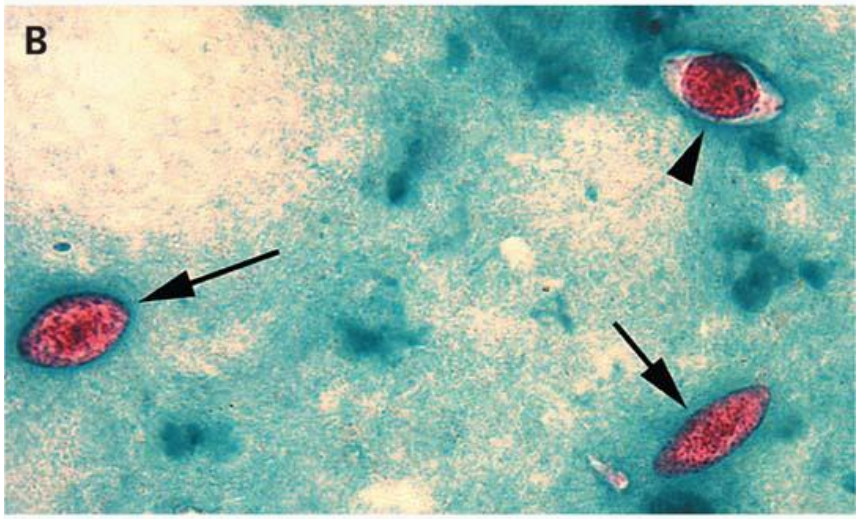
【補足】

<シストイソスポラ　*Cystoisospora belli*>

世界中で観測される小腸粘膜上皮細胞に寄生する原虫であり、主に糞口感染する。AIDS の指標疾患の 1 つ。免疫正常者では比較的軽症だが、免疫不全者では難治性の水様下痢が持続し、消化吸収不良、体重減少、全身衰弱をもたらす。AIDS 患者でこのように低 K 性筋力低下をもたらしたとの報告がある。

診断はスライドグラス上でオーシストを見出すことでなされる。ST 合剤で治療する。

シストイソスポラのオーシスト



抗酸染色したオーシスト

【Take Home Massage】

病原体のはっきりしない慢性感染症では HIV 感染症の可能性を考慮する

【参照】

『考える技術　臨床的思考を分析する』　Scott D.C.Stern　日経 BP 出版